

(お 知 ら せ)



2026年5月1日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2026年5月1日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・第7回定期事業者検査中（2026年4月6日～8月下旬）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定） 新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（2025年9月16日～） 【別紙】

() 内は定格電気出力

<新規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申 請	申請日	補正日	許認可日
2号機	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2026年4月4日～2026年5月1日）

- (1) 法律に基づく報告事象
なし
- (2) 安全協定に基づく異常時報告事象
なし
- (3) 保全品質情報等
なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2026年5月1日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

- (1) 敦賀発電所2号機における定期安全レビュー（第3回）の結果について
当社は4月13日、敦賀発電所2号機の定期安全レビュー（第3回）の評価結果をとりまとめました。
定期安全レビューは、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、原子炉施設における保安活動の実施状況及び保安活動への最新の技術的知見の反映

状況等を定期的（10年を超えない期間ごと）に評価する活動で、今回は2015年4月から2025年3月までを対象期間として評価を行い、保安活動が継続的に改善され、安全性の維持・向上が適切に図られていることを確認しました。

当社は、今後とも安全確保を最優先に、保安活動を継続して実施・改善していくことにより、発電所の安全性・信頼性の向上に取り組んでまいります。

（4月13日お知らせ済み）

（2）げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間 9：30～16：30】

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています＞

① 写真展「みんなに猫を処方します」

当ギャラリーでは初となる、津原^{つばら} 裕生^{ゆうき} 様による写真作品展です。愛猫の可愛い仕草や日常を撮影した作品を30点展示予定です。

（5月5日～5月10日（最終日は15：30まで））

② PHOTO CLUB「宙」^{そら}展2026 ー自由 気ままにー

PHOTO CLUB「宙」(代表:木村^{きむら} 多恵子^{たえこ} 様)の10名の皆様による写真作品展です。それぞれの思いを表現した作品を20点展示予定です。

（5月19日～5月24日）

以 上

＜ 問 合 せ 先 ＞

日本原子力発電株式会社
敦賀事業本部 立地・地域共生部

[担当：高橋、垣見]

電話：0770-25-5612

敦賀発電所2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破碎帯等」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑の掘削にあたり立坑の掘削作業を行っているものです。引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

項目	調査目的	調査位置・概要		実施状況
1	K断層の分布と性状	(1)	K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレンチの地下深部までのボーリング調査を行う。	現地調査中
2	K断層の活動性	(2)	<ul style="list-style-type: none"> D-1トレンチの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。 	現地調査中
3	K断層の連続性	(3-1)	ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。	現地調査中
		(3-2)	ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。	(3-1)の調査後に対応
4	その他の破碎帯等	(4)	原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の性状、原子炉建屋直下の破碎帯の活動性、その他の破碎帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。	現地調査中

<追加調査概要>

立坑掘削イメージ図

D-1トレンチ南方での調査

2026/4/13撮影

立坑の掘削(立坑内部)

2026/4/13撮影

土砂の積み込み作業(地上作業)

【その他の破碎帯等】調査坑の掘削

- 地下約30mに調査坑を掘削するため、資機材の搬入・土砂搬出に必要な立坑を掘削しています。
- 立坑内部で掘削した土砂は、クレーンで引き揚げ、ダンプに積み込んで搬出します。